

19.05.2022

プレスメッセージ

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern
ドイツ
<http://www.pilz.com>

スザンネ・クンスチャート: 2021年会計年度と 2022年の業績予想

オストフィルダン, 19.05.2022 - (納入に歯止め)

ここ数年、世界中のピルツの従業員は日々新たな課題に直面し、困難な状況を乗り越えてきました。2021年の結果は、その努力が実ったという肯定的なものになりました。世界中の従業員が変化に柔軟に対応し、たゆまぬ努力をしている間、私たちはグループとして同じ方向を向いて歩み続けました。兄も私もとても感謝しています。私たちは今後についても楽観的であり、これから、さらに強い存在になれると確信しています。

2021年度は、ピルツにとって記録的な年となりました。売上高は3億4,840万ユーロで、売上高は前年比で21.7%増加し、当社の史上最高売上高を記録しました。特に夏以降、資材と貨物の容量に顕著な障害が生じていましたが、当社の従業員はほとんどすべての生産拠点をコンポーネントを供給し、過去最多の240万台の機器を生産することができました。

従業員のこの成果は、調達市場で進行中の問題を考えるとなおさら印象的なものでした。2020年以降、サプライチェーンではこれまでにない混乱を経験してきました。このような課題を克服することに成功した理由の1つは、オストフィルダン、金壇(中国)、ベッチドルフ(フランス)の生産拠点のネットワーク化と、現場でのプロセスの標準化です。これにより、生産を柔軟に移管することが可能となり、納期の問題に対処することができました。

2つ目の理由は、当社の「供給保証」作業部会です。この作業部会には、購買、開発、生産技術、生産、販売の各部門が含まれます。したがって、購買部門は、サプライヤと緊密に協力し、障害となっている箇所をエスカレーションし、追加の供給源を確保します。開発では代替コンポーネントや資材を選定し、生産技術では(希少な)コンポーネントの使用を制御し、生産ではそのプロセスを柔軟に適応させ、コンポーネントの在庫が十分ある場合は、短期間、追加シフトで生産を行います。販売部門は常にお客さまとの連絡を取り、現在の状況について逐一お客さまに報告します。

サプライヤからのコミットメントは、現在、義務がないか、直前に変更されることがよくあります。製品グループに応じて、今後はさまざまなタイミングで、長期的な発注を行います。特に重要なコンポーネントの場合は最大2年分の発注を行います。

出荷が最優先です。これを**実現**するには、ピルツが**従来**とは異なる道を進む必要があります。たとえば、**粒状グリーンプラスチック**の供給障害を解決するために、ピルツは**2021年9月中旬**から、お客さまに**技術的な制約なし**に、**透明なプラスチック製ハウジング**を備えた安全リレーを提供してきました。ハウジングは、**TÜV、UL、CQC、Kosha、EAC**の**認証機関**との**緊密な連携**により、**記録的短時間で変更**されました。

しかし、**当社**があらゆる**対策**を取ったにもかかわらず、ピルツの生産停止を防ぐには**不十分**でした。その際、**影響**を受けたお客さまには**すぐに情報**が提供され、**代替案**を一**緒**に考案しました。

すべてのセクターと地域での成長

ピルツは、**安全オートメーションのためのフルサービスプロバイダ**です。**当社**のオートメーションソリューションを通じ、世界をよりデジタル化され、**接続**され、**柔軟性**があり、**効率的**で、**安全**および**セキュリティ** **対策**の高いものにします。

当社のポートフォリオには、**産業用通信、診断、視覚化**などのシステムを含む、**センサ、コントローラ、ドライブ技術**が含まれます。ポートフォリオには、**コンサルティング、エンジニアリング、トレーニング**などの**国際的な各種サービス**も含まれています。

製品に関しては、**2021年の収益増加**は、**個々の製品分野に均等に配分**されています。バランスのとれた**製品ポートフォリオ**があることを示す、特に**満足**のいく**成果**です。非常停止や安全扉などの機能を安全に監視するための新しいモジュラ式安全リレー**myPNOZ**の市場投入に成功しました。新しい**myPNOZ Creator**により、**バッチサイズ1**で安全製品を注文できる**独自のデジタル注文プロセス**をお客さまに提供します。これにより、**当社**の**製品管理**および**開発チーム**は**真の革新**を**実現**しました。シンプルな操作とモジュラ設計による利点が高く**評価**され、ここ**数ヶ月**の**売上高**は、**当社**の他の製品を大幅に上回りました。サービスも**同様**に成長しています。機械のライフサイクル**全体**において、各社のニーズに合わせて**カスタマイズ**された**包括的な安全サービス**を提供します。そうすることで、**ヨーロッパのCEマーキング**や**米国のOSHA**など、地域の規制要件への**世界的な準拠**を保証します。

ピルツは**国際的な事業展開**を行っている企業です。これは、前年と変わらない、**75.2%**という高い輸出シェアによって**実証**されています。地域的には、**アジア太平洋地域**で特に高い成長を達成できました。ピルツグループ全体を見ると、**売上高の伸びが最も大きい国**は、**中国、韓国、日本**です。過去**数年間**の安全オートメーションのトレンドが引き続き見られます。**当社**のソリューションは、アジアでは、**バッテリーの製造**などに使用されています。新しい生産能力が**道路交通のe-モビリティ**へのトレンドから生まれました。**当社**が有する**経験**と**オートメーションソリューション**により、私たちはこの分野の安全要件を容易に**満たす**ことができます。また、この**専門知識**で**ヨーロッパのバッテリー製造業者**をサポートしたいと考えています。**社内物流**は、**アジア内**のみならず、**新興セクター**として注目されています。ここでも、**安全性**が重要な役割を果たします。私たちが提供する**社内物流**については、後で詳しく**説明**します。

配送状況が厳しいにもかかわらず、**ヨーロッパ**では**2桁の売上増**が記録され、**2021年**を**記録的な受注数**で終えることができました。投資を準備していることは、明らかです。**新型コロナウイルス**のロックダウンにより、**当社**のスタッフは**オンライントレーニングパッケージ**を**拡張**しました。また、**機械安全のオンライントレーニング**も提供できるようになりました。**2021年**に**ヨーロッパ**で最も成長率の高い製品分野は**センサ**でした。ピルツは、この製品レンジで**ヨーロッパ地域**での市場シェアを**拡大**することができました。とりわけ、**安全コンポーネント**の最大の市場を構成する**ライトカーテン**のシェア**拡大**が**顕著**です。特に**システム**や**特殊用途の機械**の分野では、**欧州**では主に、**自動車産業**、**鉄道技術部門**、**半導体産業**において、**安全ソリューション**に対する高い需要が**発生**しています。

南北アメリカでの状況は非常に**多様**です。北米では**機械メーカー**と**販売業者**が**ビジネスパートナー**ですが、**中南米**のお客様の多くは**エンドユーザー**です。ピルツは、**食品**、**飲料**、**衛生製品**などの**消費者商品**に対する需要の高まりから、すべての市場で**メリット**を享受しています。

当社は、新しい生産能力の**開発**と、**既存の設備**を再び**最先端技術**の状態に引き上げる**改造**の**両方**をサポートします。昨年、北米で**センサ**および**制御技術**（**リレー**を含む）の市場シェアを再び**拡大**することに成功したことを、特に嬉しく思います。**中南米**では、**当社**の**サービスパッケージ**により、**国際的な消費財製造業者**から**引っぱり**だこの**パートナー**となっています。同じ品質の**サービス**を世界中で提供できるため、世界の異なる場所で、次の**プロジェクト**につながる**こと**がよくあります。

人事: 2022年に予定されている従業員数増加計画

ピルツグループの従業員数は、前年の2,366人に比べて1.3%減少し、2,335人になりました(2021年12月31日時点)。42の子会社と支社を擁し、世界各地で人、機械、環境に安全を提供しています。2022年には、注目すべき記念日がいくつかあります。例えば、英国の子会社は創立35周年で、スペインは30周年を迎え、日本とスカンジナビアは25周年です。

ドイツでの従業員数もわずかに減少し、2020年の1,012人から2021年には993人(-1.9%)になりました。危機のさなかにあっても、私たちは強制的なリストラを回避することができました。今年は再び、スタッフを追加採用する予定です。

ピルツは、このような危機の年にも、包括的で集中的な研究開発を続け、技術リーダーとしての地位をさらに確立してきました。従業員の数が、これを証明しています。世界中の全従業員の約21%が、年末時点で研究開発に携わっていました。

ピルツは、お客様やビジネスパートナーだけでなく、スタッフとの長期的な共同作業にも関心を持っています。ピルツ従業員のロイヤリティの高さは、当社のスタッフの長い勤続年数からもわかります。たとえば、ドイツでは、勤続年数の平均は14年です。2019年以前の数年間、従業員の増加が大きい(つまり、短期間だけピルツに勤務していた従業員の数が比較的多い)ことを考慮すると、この数値はさらに印象的になります。

ここで数名の従業員を選び出したいと思います。今年は、オストフィルダン本社のスタッフ10名が、ピルツでの勤続40年以上のお祝いをします。英国子会社の経営パートナーSteve Farrowはピルツでの勤続30年、ピルツスカンジナビアの経営パートナーAllan Paulsenは25年、オーストリアの子会社の経営パートナーDavid Machanekは20年を祝います。これら長期勤続従業員の行動と強みがあってこそ、ピルツは、今日のような国際展開する同族企業に成長することができました。

そして今、ピルツの「ベテラン」から新世代へ: ピルツは、社内での専門的なトレーニングに引き続き取り組んでいます。2021年には、バーデンビュルテンベルク州立大学の8人の研修生と6人の学生が、本社に勤務しました。この数を入れると、2021年12月31日時点で、ピルツは46名の研修生と学生を指導しています。彼らは、パンデミックが許せば、今年も国際的な任務に派遣されることを知ってワクワクするでしょう。

しかし、コロナウイルスのパンデミックは、依然として労働環境などに影響を及ぼしています。応募者市場は、常勤職、研究生ともに現在非常に厳しい状況です。

2022年の展望

ピルツは、2022年も厳しい年になると予測しています。受注は引き続き記録的な水準にありますが、電子部品、金属、粒状樹脂の調達は依然として課題となっています。ウクライナでの戦争に伴い、資源と材料費の更なる上昇が予想されます。

ピルツのチームは世界中で緊密に協力しており、お客様と一緒に、また、お互いに協力し続けていきたいと考えています。お客様やビジネスパートナーとの良好な関係のおかげで、協力関係がますます強化されます。私たちは自信を持って未来に立ち向かっていきます。



キャプション: スザンネ・クンスチャート、経営パートナー (写真: © Pilz GmbH & Co. KG)

テキストと画像はwww.pilz.comで検索、ダウンロードできます。プレスセンターで関連するインターネットのページを直接開くには、以下のWebコードをホームページの検索画面に入力してください。: **232028**

ピルツグループ

ピルツグループはオートメーション技術向けの製品、システム、サービスのグローバルサプライヤーです。同族企業ピルツは、シュツットガルト近郊のオフティルゲン（ドイツ）に本拠地を置き、約2500名の従業員を雇用しています。世界各地に42の現地法人並びに支社を擁し、人、機械、環境の安全を実現するソリューションを提供しています。技術をリードするピルツは、産業用通信、診断および視覚化装置も含めて、センサ、コントローラ、ドライブ技術で構成されるトータルオートメーションソリューションを提供します。コンサルティング、エンジニアリング、トレーニングの国際的なサービスも展開しています。機械工学、プラントエンジニアリングの他、ピルツのソリューションは、風力発電、鉄道技術、ロボティクスなど、多くの産業分野で採用されています。

www.pilz.com

ピルツのソーシャルネットワーク

ピルツのソーシャルメディアチャンネルでは、ピルツと社員の参考情報の他、オートメーション技術開発に関する最新情報をお知らせします。



<https://www.facebook.com/pilzINT>



https://twitter.com/Pilz_INT



<https://www.youtube.com/user/PilzINT>



<https://www.xing.com/companies/pilzgmbh%26co.kg>



<https://www.linkedin.com/company/pilz>

記者向け連絡先

Martin Kurth

企業およびテクニカルプレス

+49 711 3409 - 158

publicrelations@pilz.com

Sabine Skaletz-Karrer

テクニカルプレス

+49 711 3409 - 7009

s.skaletz-karrer@pilz.de